

令和4年度第3回音更町地域公共交通活性化協議会会議結果（要旨）

会 議 名	令和4年度第3回音更町地域公共交通活性化協議会
開 催 日 時	令和4年11月1日（火）午後2時から午後3時40分まで
開 催 場 所	音更町役場3階特別会議室
委 員 出 席 者	宮原会長、小森委員、村上委員、近藤委員、中村委員、塚本委員、富田委員、石川委員、酒井委員、宮西委員代理、山田委員、新田委員、桐山委員、吉田委員、井原委員、下口谷委員、岸アドバイザー
事 務 局 出 席 者	早苗事務局長、川村事務局員、横井事務局員、津久井事務局員
議 題 ・ 諮 問 内 容	<p>(1) 議案第1号 音更町における公共交通の現況について</p> <p>(2) 議案第2号 公共交通に関するアンケート調査結果について</p> <p>(3) 議案第3号 公共交通に関する町民ワークショップの結果について</p> <p>(4) 議案第4号 音更町地域公共交通網形成計画の評価結果について</p> <p>(5) 議案第5号 音更町地域公共交通計画の方向性について</p> <p>(6) その他</p>
会 議 資 料	別添のとおり
会 議 結 果	<p>(1) 議案第1号～議案第4号 議案のとおり各種調査の結果や地域公共交通網形成計画の評価結果が報告される。</p> <p>(2) 議案第5号 議案の内容を再度精査した上で、次回会議において素案として提案する方向で進めることの承認が得られる。</p> <p>(3) その他 次回の会議について、11月24日（木）午前10時から音更町役場3階特別会議室で開催する予定であることの報告がある。</p>
出された主な意見等	<p>(1) 議案第1号に対する質問・意見等</p> <p>○ コミバスの利用者が平成29年度をピークに、コロナ禍前である平成30年度、令和元年度と減少しているが、その要因を把握しているか。</p> <p>→ 詳細な分析はできていないため、把握していない。</p> <p>→ 当時、役場とバス会社で要因を把握するため、乗務員の聞き取りなどを行ったが、その要因を把握できなかったと記憶している。</p> <p>→ この要因を分析することで、利用者を増やすために何をすべきかということが見えてくるため、今後の議論の重要なポイントになるものと考えられる。</p> <p>○ 宅地造成の時期と高齢化に関連はあるか。</p> <p>→ 早い時期に宅地造成が行われた地区において高齢化が進んでいる実態にある。</p>

(2) 議案第2号に対する質問・意見等

○ 便数や時間が合わないというコミバスの課題に対しては、現在、自家用車を利用している人たちの移動実態を把握することが一つの鍵で、そこに合わせる形でどれだけ現在のサービス体系を変えるのかが、今後の議論のポイントになる。

また、乗合タクシーについては、切羽詰まった状況にならないと利用につながらない可能性もあるため、利用者を増やすというよりは、今後どう維持していくかを主眼に議論すべきと考えている。

→ 高齢者の方は、午前中に買い物等を終わらせたい方が多いため、コミバスの午前中の便を手厚くする必要があると考えている。

→ コミバスでは、午前中の運行やバス停環境の整備、乗合タクシーでは認知度の向上などが課題と捉えており、皆さんのご意見を生かせるよう、今後検討していきたい。

(3) 議案第3号に対する質問・意見等

○ 家族の協力を得ることも遠慮してしまう高齢者の方が多い実態が把握できたことから、こうした方に公共交通を利用してもらうための環境整備に向けた議論が必要になるものと考えている。

(4) 議案第4号に対する質問・意見等

○ 町内バス交通の利用促進に向けて、様々な媒体で情報提供しているが、先ほどのアンケート結果を見ると、インターネットのルート検索などについて、簡単でも使うつもりはないと回答している人も多く、どのように周知するのが効果的なのか悩ましいと感じたところである。

→ どのように工夫すれば、インターネット検索などのことを知ってもらい、利用していただけるのかなど、効果的な周知方法について今後検討していきたい。

(5) 議案第5号に対する質問・意見等

○ 各種施策は、具体的にいつ頃実施される見通しなのか。

→ 可能なものについては、来年度から実施していきたい。

○ 緑陽台、柳町など高齢化が進みつつある地区への対応に加えて、ひびき野、鈴蘭など今後高齢化が進む可能性のある地区も視野に入れながら、長期的な視点で対策を検討していくことも必要である。

また、現在は家族の送迎が可能であるため利用しないとの回答も多いが、その家族も高齢化していき、今後免許返納者も増えていくことが予想されることから、現在の課題とこれからの課題を整理して、戦略を立てていく必要がある。

→ 将来の高齢化を見据えた計画も重要であり、全てのニーズに応えることは難しい面もあるが、可能な限り検討を進めていきたい。

○ 道の駅については、一過性のブームで終わらせることのないようリピーターが多く足を運ぶよう、交通の分野だけでなく、様々な分野で連携しながら、地域の活性化につなげていく必要がある。

→ 道の駅については、コミバスの乗入れなども視野に入れながら、現在運行している帯広空港連絡バスなどで交通手段を確保し、地域の活性化につながる取組につなげていきたい。

○ 高齢者にとっては、自由度の高い移動手段の確保が必要である。老人クラブの中でも、タクシーの利用に対する補助などの施策を考えることも一つのポイントだと思う。

	<p>→ 道路交通法の関係上、交通量の多い路線での導入は難しい面もあるが、フリー乗降の導入などにより、自由度の高い移動手段の確保に向けた取組について検討を進めていきたい。タクシーの利用促進については、乗合タクシーの認知度向上などを含めて、現在の公共交通の利用促進を進めながら、今後検討していきたい。</p> <p>○ 買い物でコミバスを利用する高齢者から、帰りは荷物が重く、持って帰るのが大変との意見を聞いている。交通だけでなく、お店や運送業などと連携した買い物支援についても、今後検討していく必要がある。</p> <p>→ 宅配サービスを実施している店舗もあり、それを含めて、どのような買い物支援が実施できるのか、今後検討していきたい。</p> <p>○ 高齢化で路線バスの需要が見込まれる一方、少子化も大きな問題で、学生の利用が減ってきているという実態がある。サービスの向上でクリアできる問題とできない問題があることから、それを踏まえて今後のサービスの在り方について検討する必要がある。</p> <p>→ 本町は人口の減少幅は小さいが、今後は、人口の絶対数が減っていく中で、古くからある団地の世代交代や新しい団地の状況などのまちの構造を踏まえながら、公共交通のみならず、まちづくり全般を考えていく必要がある。このことを踏まえて、子育て世代など生産年齢人口が町内の特定の地域に偏ることなく生活していくための宅地造成や空き地・空き家対策などの施策などを検討した上で、総合計画を策定したところであり、来年、再来年に実現できる施策にはならないが、こうした視点を今回の計画に反映できるよう、今後検討を進めていく。</p> <p>○ 基本方針については、公共交通をどうするかということに記載すべきであり、例えば、基本方針1では、町内の移動ニーズに即した利便性の高い公共交通網の「継続的な見直し」ではなく、利便性の高い公共交通網の「持続的・継続的な運行」としたり、基本方針3も公共交通の利用促進の展開ではなく、例えば公共交通への利用促進に向けて町民の皆さんの意識を変えるというような内容にすべきである。</p>
お 問 合 せ 先	事務局 音更町企画財政部企画課企画調整係（内線212）